

## 富山市の平地積雪断面測定資料報告 1991-1992年冬

著者	石坂 雅昭
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	16
ページ	109-111
発行年	1993-03-25
URL	<a href="http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&amp;item_id=613">http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&amp;item_id=613</a>

短 報

富山市の平地積雪断面測定資料報告  
1991—1992年冬\*

石坂 雅昭  
富山市科学文化センター

はじめに

1991年の12月から1992年の3月にかけての冬期間に行った積雪の断面観測の結果を報告する。測定は、毎月5のつく日、あるいはそれができない場合は、その近日を観測の日とした。

測定結果

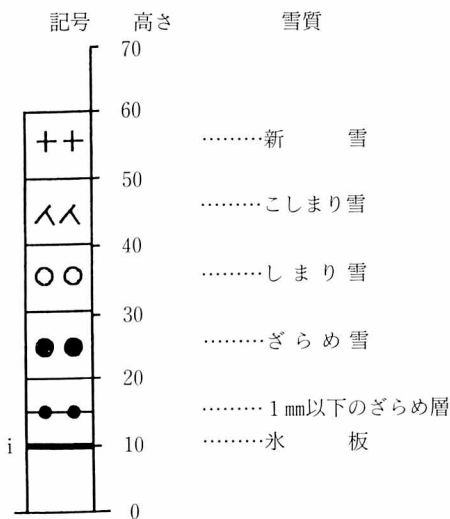
測定場所は、当館に隣接する城南公園の草地である。測定項目は、積雪の層構造、雪質、

温度、密度、硬度、および積雪水量である。測定結果を表2に示した。表中の記号は、表1に示した通りである。また、「高さH」は地上高であり、密度G、硬度R、雪温TSが測定された位置を示す。ただし、密度の場合は、角形サンプラーで採雪された雪の上面の高さである。硬度の測定は、木下式硬度計を用いた。なお、図1は富山地方気象台で測定された日最高気温、日最低気温および積雪深を気象月報から読みとり、グラフにしたものである。

文 献

富山地方気象台編, 1991. 富山県気象月報, 12月号.  
———, 1992. ————, 1月号, 2月号, 3月号.

表1. 記号の説明

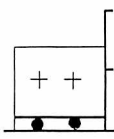
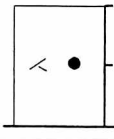
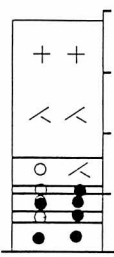
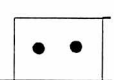
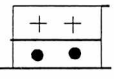


積雪の粒度

記号	粒 度
a	0.5mmより小さい
b	0.5mm～1.0mm
c	1.0mm～2.0mm
d	2.0mm～4.0mm
e	4.0mmより大きい

\*富山市科学文化センター研究業績第147号

表 2. 1991-1992年冬の積雪断面観測の結果

年月日 時刻 天気	成 層 図			高 々 H cm	密 度 G $g \cdot cm^{-3}$	硬 度 R $g \cdot cm^{-2}$	雪 温 Ts °C	含 水 率 W %	全積雪水量 平均密度 Hw G T a その他
	粒 度	雪 質	高 々 高さ						
1991 12-12				14 10	0.18	107	全層 0°C	10-15%	
12-13							全層 0°C		
1992 1-19				39 30 16 12 8	0.08 0.08 0.28	100 118	全層 0°C	~10% ~20%	H=5.5 G=0.14
1-21	積雪 25cm						全層 0°C		H=5.4 G=0.22
1-22	積雪 18cm						全層 0°C		H=5.9 G=0.33
1-23	積雪 16cm						全層 0°C		H=5.0 G=0.22
1-24	積雪 20cm						全層 0°C		H=12 G=0.31
1-26							全層 0°C		H=4.5 G=0.45
1-28	積雪 4 cm						全層 0°C		H=1.8 G=0.43
2-9									H=1.2 G=0.12

富山市の平地積雪断面測定資料報告 1991—1992 年冬

年月日 時刻 天気	成 層 図			高  さ H cm	密 度 G $g \cdot cm^{-3}$	硬 度 R $g \cdot cm^{-2}$	雪 温 Ts °C	含水率 W %	全積雪水量 平均密度 G の 他	Hw G T a
	粒 度	雪 質	高  さ							
2-22							全層 0°C		H=2.0 G=0.09	

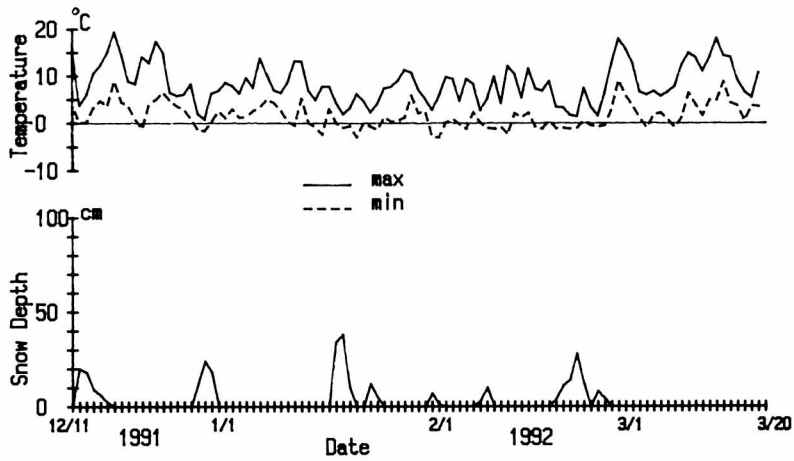


図1. 1991-1992年の気温と積雪深の推移 (富山地方気象台調べ)